



紫光

令和5年度 学校だより3月号
亀岡市立詳徳小学校
令和6年3月1日発行

【TEL】0771-24-5669

【HP】<https://www.citv.kameoka.kvoto.in/site/esho/>



詳徳小ホームページ
QRコード

変化に対応する

先日、テレビの天気予報で、今年は2月に雨が多く、3月の気候が前倒しになっているのではないかと話をされていました。様々な気象の変化を考えても、四季の移り変わりや暦との関係が変化してきているのかもしれませんが、ところで、私は家で小さな鉢植えのハイビスカスを育てています。夏場たくさんの花を咲かせた後は、ほとんど葉を落とし休眠状態に入っていました。残った小さい葉が少し大きくなり、いくつも花をつけています。本来であれば、暑い時期に咲く花ですが、気候の変化を敏感に感じとり対応しているのだとすると、植物の強い生命力を感じます。

さて、いよいよ今年度も残すところ3月のみとなりました。今年度は言語活動を柱に研究を進めてきましたが、その1つとして朝学習でデジタル新聞を読む活動を続けてきました。読むだけでなく、感想を交流したり、ロイロノートに感想と合わせて記事をスクラップしたり等学年に応じて工夫し、本校の特色ある取組となっています。社会の動きや変化、出来事を文字を通して知り、感想や考えを持つことで自分と繋げ、得た情報を活用していくことは、とても大切だと考えています。学校で新聞を教材として活用する活動は、NIE (Newspaper in Education = 「エヌ・アイ・イー」) とよばれ、1930年代にアメリカで始まり、日本では1985年、静岡で開かれた新聞大会で提唱されました。毎年全国大会が開催され、様々な校種で取り組まれた実践が発表されています。今年8月には、その全国大会が京都で「探究と対話を深める」をテーマに開催されることとなり、本校の実践を発表することが決まりました。全国から大会に参加される方々に、本校の取組を紹介する良い機会ですので、本校の特色をしっかりと伝えたいと考えています。

社会には様々な情報があふれています。すべてが大切で正しいわけではありません。自分にとって必要な情報を主体的に収集し、判断し、自分の考えとして再構築したり、新たな考えを創造したりする力とともに、それらを表現し伝える力が必要となります。情報を活用し自らの生き方に活かしていくためにも、言葉を大切にしたい本校の取組を今後も大切にしていきたいと思えます。

植物は種を守っていくために、様々な情報を活用しメカニズムを創り出しています。私たちも、変化の激しい社会を生きていくために、植物から学ぶことがきっとたくさんあるのではないのでしょうか。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 眞理子



大谷選手のグローブが届きました！

メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手から全国の小学校に贈られているグローブが、ついに亀岡市内の小学校にも届きました。代表して6年生が校長先生からグローブが入った箱を受け取り、みんなに披露しました。大谷選手からの夢のせた贈り物をこれから大切に使用させていただきます。

多数のご参観ありがとうございました！

2月15日の授業参観には、多数ご来校いただきました。今年度3回目のふあみよみマーケットも大盛況でした。その後のPTA総会も大変お世話になりました。学級閉鎖により実施できなかった4年2組の参観は、3月1日に行いました。温かい感想を多数お寄せいただき、本当にありがとうございました。

